

施設名称	所管	管理運営方法 1 一部委託 2 直営	園児数 (単位：人)			投入一般財源 園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源	施設の効率性				判定・コメント																																																																																																																							
			H19年度	H20年度	H21年度		施設の規模は適正か？	廃止・近隣施設との統合についての検討	受益者負担は適正か？	コストを削減する余地はあるか？																																																																																																																								
			1 適正である 2 適正でない	1 必要がある 2 必要はない	1 適性である 2 見直す余地あり 3 求められない		1 余地あり 2 余地なし																																																																																																																											
17 西鶴山保育園	こども課	1	39	46	48	39,315千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 西鶴山地区には幼稚園がないため、現西鶴山保育園をそのまま利用し、これに幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						819,063円						18 香登保育園	こども課	1	27	19	23	33,703千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 香登地区にある香登保育園と大内保育園（廃園）を1園に統合し、3歳以下児については香登保育園を本園として、4歳以上児については香登幼稚園を分園として、資本投下を抑えるためそれぞれ既存施設を利用し、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう近距離にありながら幼保一体化施設として運営形態を変更することが望ましい。	1,465,348円	19 大内保育園	こども課	1	18	12	13	37,677千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 香登地区にある香登保育園と大内保育園（廃園）を1園に統合し、3歳以下児については香登保育園を本園として、4歳以上児については香登幼稚園を分園として、資本投下を抑えるためそれぞれ既存施設を利用し、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう近距離にありながら幼保一体化施設として運営形態を変更することが望ましい。	2,898,231円	20 伊部保育園	こども課	1	47	42	48	49,941千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,040,438円	21 殿土井保育園	こども課	1	66	64	73	60,123千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	823,603円	22 片上保育園	こども課	1	60	57	47	45,089千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 片上保育園は老朽化が激しく建て替えの時期にあるが、新たな投資を抑制するため従前の地区割りを脱し、3歳以下児は伊里地区及び伊部地区に分散させることも今後、検討する必要がある。4歳以上児は現片上幼稚園に保育園機能を加えた幼稚園型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	959,340円	23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。	777,323円	24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課
18 香登保育園	こども課	1	27	19	23	33,703千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 香登地区にある香登保育園と大内保育園（廃園）を1園に統合し、3歳以下児については香登保育園を本園として、4歳以上児については香登幼稚園を分園として、資本投下を抑えるためそれぞれ既存施設を利用し、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう近距離にありながら幼保一体化施設として運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						1,465,348円						19 大内保育園	こども課	1	18	12	13	37,677千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 香登地区にある香登保育園と大内保育園（廃園）を1園に統合し、3歳以下児については香登保育園を本園として、4歳以上児については香登幼稚園を分園として、資本投下を抑えるためそれぞれ既存施設を利用し、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう近距離にありながら幼保一体化施設として運営形態を変更することが望ましい。	2,898,231円	20 伊部保育園	こども課	1	47	42	48	49,941千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,040,438円	21 殿土井保育園	こども課	1	66	64	73	60,123千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	823,603円	22 片上保育園	こども課	1	60	57	47	45,089千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 片上保育園は老朽化が激しく建て替えの時期にあるが、新たな投資を抑制するため従前の地区割りを脱し、3歳以下児は伊里地区及び伊部地区に分散させることも今後、検討する必要がある。4歳以上児は現片上幼稚園に保育園機能を加えた幼稚園型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	959,340円	23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。	777,323円	24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円		
19 大内保育園	こども課	1	18	12	13	37,677千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 香登地区にある香登保育園と大内保育園（廃園）を1園に統合し、3歳以下児については香登保育園を本園として、4歳以上児については香登幼稚園を分園として、資本投下を抑えるためそれぞれ既存施設を利用し、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう近距離にありながら幼保一体化施設として運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						2,898,231円						20 伊部保育園	こども課	1	47	42	48	49,941千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,040,438円	21 殿土井保育園	こども課	1	66	64	73	60,123千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	823,603円	22 片上保育園	こども課	1	60	57	47	45,089千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 片上保育園は老朽化が激しく建て替えの時期にあるが、新たな投資を抑制するため従前の地区割りを脱し、3歳以下児は伊里地区及び伊部地区に分散させることも今後、検討する必要がある。4歳以上児は現片上幼稚園に保育園機能を加えた幼稚園型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	959,340円	23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。	777,323円	24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円															
20 伊部保育園	こども課	1	47	42	48	49,941千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						1,040,438円						21 殿土井保育園	こども課	1	66	64	73	60,123千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	823,603円	22 片上保育園	こども課	1	60	57	47	45,089千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 片上保育園は老朽化が激しく建て替えの時期にあるが、新たな投資を抑制するため従前の地区割りを脱し、3歳以下児は伊里地区及び伊部地区に分散させることも今後、検討する必要がある。4歳以上児は現片上幼稚園に保育園機能を加えた幼稚園型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	959,340円	23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。	777,323円	24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																												
21 殿土井保育園	こども課	1	66	64	73	60,123千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 伊部地区にある伊部保育園（廃園）と殿土井保育園を1園に統合し、施設の老朽化が激しい殿土井保育園を伊部幼稚園に隣接した場所に建て替え、幼保連携型の認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						823,603円						22 片上保育園	こども課	1	60	57	47	45,089千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 片上保育園は老朽化が激しく建て替えの時期にあるが、新たな投資を抑制するため従前の地区割りを脱し、3歳以下児は伊里地区及び伊部地区に分散させることも今後、検討する必要がある。4歳以上児は現片上幼稚園に保育園機能を加えた幼稚園型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	959,340円	23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。	777,323円	24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																																									
22 片上保育園	こども課	1	60	57	47	45,089千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 片上保育園は老朽化が激しく建て替えの時期にあるが、新たな投資を抑制するため従前の地区割りを脱し、3歳以下児は伊里地区及び伊部地区に分散させることも今後、検討する必要がある。4歳以上児は現片上幼稚園に保育園機能を加えた幼稚園型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						959,340円						23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。	777,323円	24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																																																						
23 穂浪保育園	こども課	1	74	67	62	48,194千円	2	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 伊里地区にある穂浪保育園、木生保育園、伊里幼稚園を統合し、平成22年4月に幼保一体型施設（伊里認定こども園）として運営している。運営形態は幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられる。																																																																																																																							
						777,323円						24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,174,235円	25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																																																																			
24 三石保育園	こども課	1	37	41	34	39,924千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 三石地区にある三石保育園と三石幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設の一部を利用し、保育園に幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						1,174,235円						25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。	1,420,825円	26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																																																																																
25 日生保育園	こども課	1	67	54	40	56,833千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 日生地区にある日生保育園と日生幼稚園は隣接しており、現保育園施設と現幼稚園施設を利用し、幼保連携型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。																																																																																																																							
						1,420,825円						26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。	1,350,448円	27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																																																																																													
26 吉永保育園	こども課	1	15	17	29	39,163千円	2	1	2	1	<統廃合を検討する> 吉永地区にある吉永保育園と吉永・神根幼稚園の3園を旧吉永病院跡地に新設統合し、幼保連携型認定こども園として、平成24年4月の開園を目指している。																																																																																																																							
						1,350,448円						27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。	1,741,167円																																																																																																										
27 頭島保育園	こども課	1	5	8	6	10,447千円	1	2	3	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。																																																																																																																							
						1,741,167円																																																																																																																												

施設の種類	施設の名称	所管	管理運営方法	園児数 (単位:人)			投入一般財源 園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源	施設の効率性				判定・コメント
				H19年度	H20年度	H21年度		施設の規模は適 正か?	廃止・近隣施設 との統合につい ての検討	受益者負担は適 正か?	コストを削減す る余地はある か?	
				1 一部委託 2 直営				1 適正である 2 適正でない	1 必要がある 2 必要はない	1 適正である 2 見直す余地あり 3 求められない	1 余地あり 2 余地なし	
84	片上高等学校	教育総務課	2	96	99	99	17,479千円	-	-	-	-	県立高校の建物・敷地を借用しており、施設に係る維持管理費が軽微である。施設管理運営上は、今後もこの形態による管理が望ましい。給食(夜食)に係る経費は、平成19年度に調理員を削減するなど、軽減に努めている。さらに夜食費補助制度を見直すことも必要である。全校生徒に占める市内の生徒数の割合は24.2%、また、適正な受益者負担(授業料)についても他市の状況などを参考に検討していく必要がある。
							176,556円					
85	西鶴山共同調理場	教育総務課	1	690	664	629	29,854千円	1	1	2	2	<現在の管理運営形態が望ましい> 児童・生徒が減少しており、調理場の調理能力を生かすため、配食する学校の検討が必要である。
							47,463円					
86	伊里共同調理場	教育総務課	1	835	740	721	39,024千円	1	1	2	1	<統廃合を検討する> 児童・生徒が減少しており、調理場の調理能力を生かすため配食する学校の再編を検討する必要がある。
							54,125円					
87	日生共同調理場	教育総務課	2	769	755	716	36,994千円	1	2	2	2	<事務等一部委託が可能> 施設の効率的運営のため、正規職員の退職不補充・臨時職員への切替を行ってきた。今後、園児・児童・生徒数の減少が見込まれるなか、安全でおいしい給食の提供、食育の推進なども考慮のうえ、施設の効率的管理運営を検討していく必要がある。
							51,668円					
88	吉永共同調理場	教育総務課	2	612	592	562	27,580千円	1	2	2	1	<現在の管理運営形態が望ましい> 施設の効率的運営のため、正規職員の退職不補充・臨時職員への切替を行ってきた。今後、園児・児童・生徒数の減少が見込まれるなか、安全でおいしい給食の提供、食育の推進なども考慮のうえ、施設の管理運営を検討していく必要がある。
							49,075円					
89	片上小学校調理場	教育総務課	2	219	199	201	12,959千円	1	1	2	1	<統廃合を検討する(現在の管理運営形態が望ましい)> 児童・生徒が減少しており、単独調理場の廃止を含め、調理場の調理能力を生かすため配食する学校を検討再編することが望ましいが、単独校調理配食を継続する要望が強いため、今のところ統廃合計画に推進する環境にない。
							64,473円					
90	備前中学校調理場	教育総務課	2	504	499	482	23,565千円	1	1	2	1	<統廃合を検討する> 施設の老朽化や児童・生徒の減少のため、単独調理場の廃止を含め、調理場の調理能力を生かすため配食する学校を検討再編する。
							48,890円					
91	香登幼稚園	教育総務課	2	31	34	28	20,124千円	-	-	-	-	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。
							718,714円					
92	伊部幼稚園	教育総務課	2	57	53	50	22,503千円	-	-	-	-	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。
							450,060円					
93	片上幼稚園	教育総務課	2	30	26	25	26,045千円	-	-	-	-	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。
							1,041,800円					
94	伊里幼稚園	教育総務課	2	51	57	54	24,600千円	-	-	-	-	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、平成21年度をもって閉園となり、平成22年度から幼保一体施設で幼児教育を行う。
							455,556円					
95	東鶴山幼稚園	教育総務課	2	10	12	14	19,634千円	-	-	-	-	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。
							1,402,429円					

施設の名称	所管	管理運営方法	園児数 (単位:人)			投入一般財源	施設の効率性				判定・コメント	
							施設の規模は適正か?	廃止・近隣施設との統合についての検討	受益者負担は適正か?	コストを削減する余地はあるか?		
												1 適正である 2 適正でない
		1 一部委託 2 直管	H19年度	H20年度	H21年度	園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源						
96	三石幼稚園	教育総務課	2	20	19	17	22,208千円 1,306,353円	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。				
97	日生幼稚園	教育総務課	2	139	139	119	58,617千円 492,580円	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。				
98	吉永幼稚園	教育総務課	2	111	109	103	46,705千円 453,447円	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。				
99	神根幼稚園	教育総務課	2	11	10	12	18,025千円 1,502,083円	少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。				
100	西鶴山小学校	教育総務課	2	98	95	90	14,756千円 163,956円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
101	香登小学校	教育総務課	2	146	161	153	21,857千円 142,856円	児童数はほぼ横ばい傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童数は横ばい傾向だが、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
102	伊部小学校	教育総務課	2	421	408	386	17,089千円 44,272円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
103	片上小学校	教育総務課	2	208	199	201	27,163千円 135,139円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
104	伊里小学校	教育総務課	2	332	318	304	19,567千円 64,365円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
105	東鶴山小学校	教育総務課	2	71	52	47	10,352千円 220,255円	児童数は、横ばいか、やや増加傾向となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童数は横ばいか、増加傾向にあるが、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
106	三石小学校	教育総務課	2	132	122	117	20,157千円 172,282円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
107	日生西小学校	教育総務課	2	217	206	207	31,245千円 150,942円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。なお、鴻島分校は平成5年4月から休校しており、草刈等での維持管理のみを行っている。				

施設の名称	所管	管理運営方法	園児数 (単位：人)			投入一般財源 園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源	施設の効率性				判定・コメント
			H19年度	H20年度	H21年度		施設の規模は適 正か？	廃止・近隣施設 との統合につい ての検討	受益者負担は適 正か？	コストを削減す る余地はある か？	
108 日生南小学校	教育総務課	2	4	7	8	7,465千円	児童数は、今後も横ばいかやや増加傾向にある。児童数が少なく児童一人当たりの経費は大きい。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。将来の市内小学校のあるべき姿について、社会基盤整備の行方、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						933,125円					
109 日生東小学校	教育総務課	2	173	173	186	17,348千円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						93,269円					
110 吉永小学校	教育総務課	2	269	271	249	15,225千円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						61,145円					
111 神根小学校	教育総務課	2	42	38	33	7,197千円	児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						218,091円					
112 三国小学校	教育総務課	2	13	14	11	6,981千円	児童数は、今後も横ばい傾向にある。児童数が少ない学校のため、児童一人当たりの経費はやや大きい。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童数は今後も横ばい傾向だが、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						634,636円					
113 備前中学校	教育総務課	2	517	499	482	26,381千円	生徒数は、年度間にばらつきがあるが減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。生徒数は減少傾向にあり、将来の備前市全体の中学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						54,732円					
114 伊里中学校	教育総務課	2	196	178	181	15,366千円	生徒数は、減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。生徒数は減少傾向にあり、将来の備前市全体の中学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						84,895円					
115 三石中学校	教育総務課	2	75	70	72	14,742千円	生徒数は、減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。生徒数は減少傾向にあり、将来の備前市全体の中学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						204,750円					
116 日生中学校	教育総務課	2	228	230	196	18,891千円	生徒数は、今後もほぼ現状維持の傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。生徒数は現状維持の傾向にあるが、将来の備前市全体の中学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						96,383円					
117 吉永中学校	教育総務課	2	157	150	154	18,376千円	生徒数は、一時増加するものの、ほぼ現状維持の傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。生徒数は現状維持の傾向にあるが、将来の備前市全体の中学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市の見地に立って多方面から検討する必要がある。				
						119,325円					